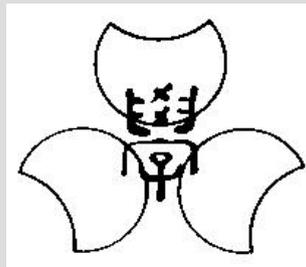


# 「沈黙は金」ならず！

Ralph L. Rose  
群馬県立女子大学  
国際コミュニケーション学部



# 概説

- 沈黙についてのアンケート
- 沈黙の価値観
  - 文化による違い
  - 会話において
  - 英語での実演
- 会話分析上の(非)沈黙

# 沈黙についてのアンケート

1. いつも話すとき、大きい声で話しますか。
2. ゆっくりとした会話をしたいですか。
3. 質問をされたら、答える前に時間をかけて考えますか。
4. 音楽を大きくして聞きたいですか。
5. だれかに質問したら、すぐに答えてほしいですか。
6. 会話は、活発なほうがいいと思いますか。

# 沈黙の価値観：文化による違い

- (主流)アメリカ・イギリス文化
  - 長い沈黙に不快感 (Shortall, 1996)
- 西アパッチエ族文化
  - 顔合わせの沈黙 (Basso, 1972)
- 日本文化
  - お手前での沈黙 (Saville-Troike, 1999)
- 西アフリカのイグボ族文化 (Williams, 1979)
  - A: まだ怒ってるかい？
  - B: [沈黙] (いいえ、もう怒ってません。)

# 沈黙の価値観：会話中

- 英語の文化
  - 沈黙をできるだけ抑える
  - 反応戦時をできるだけ短くする
  - 一般的に反応戦時がゼロになるのがベスト (Sacks, Schegloff, & Jefferson, 1974)
  - ユダヤ人は反応戦時が多少マイナス(オーバーラップ)になるのがベスト (Tannen, 1985)
- 第2言語として英語を話す日本人が

困ってます！

# 沈黙の価値観：会話中

- 第2言語として英語を話す日本人
  - 頭の中で日本語を英語に訳す間に
  - 何も言わないので
  - 反応戦時が長くなるから
  - 会話相手が不安になります。( Nakai, 2002 )
- 反応戦時を会話相手に同期する。(長岡, 2003 )
  - 受容力を示す
  - 共感や親密な関係を建てる
  - 目標達成を容易にする

# 沈黙を抑える

- 事実に基づく質問をします。
- 返事を始めてもらうまでに時間が 5 秒あります。(そうすれば、「堪能な返事」)
- 返事が終わるまでの時間制限はありません。
- 得点法
  - 堪能な返事と正しい答え = 2 点
  - 堪能な返事と正しくない返事 = 1 点
  - 堪能ではない返事 = 0 点
- 注意：質問を繰り返すことがあります。

# 沈黙を抑える方法

- Stall (時間を取る)
  - Well, ...
  - Let me see, ...
  - Hmm ...
  - That's a good question ....
  - Um ...
  - Uh ...
- Ask for repetition (再度たずねる)
  - Excuse me, could you say that again?
  - What did you say?
- Decline (放棄する)
  - I'm not sure.
  - I don't know.

# 会話中の(非)沈黙

- フィラー言葉 ( fillers )
  - 日本語: あ～、え～、そう、じゃ、うん、ん～、えーと、あのー
  - 英語: yes, yeah, right, so, uh-huh, mm-hm, oh, well, you know, like, um, uh, ah
- フィラーの二種類
  - 言葉として意味のあるフィラー
    - あ～、え～、じゃ、うん
    - Yes, right, uh-huh, well, like
  - 言葉として意味のないフィラー
    - えーと、あのー
    - um, uh, ah

Filled Pauses

# Filled Pause (有声切断)

- 音声と場所
- 利用法
- 聞き手の反応

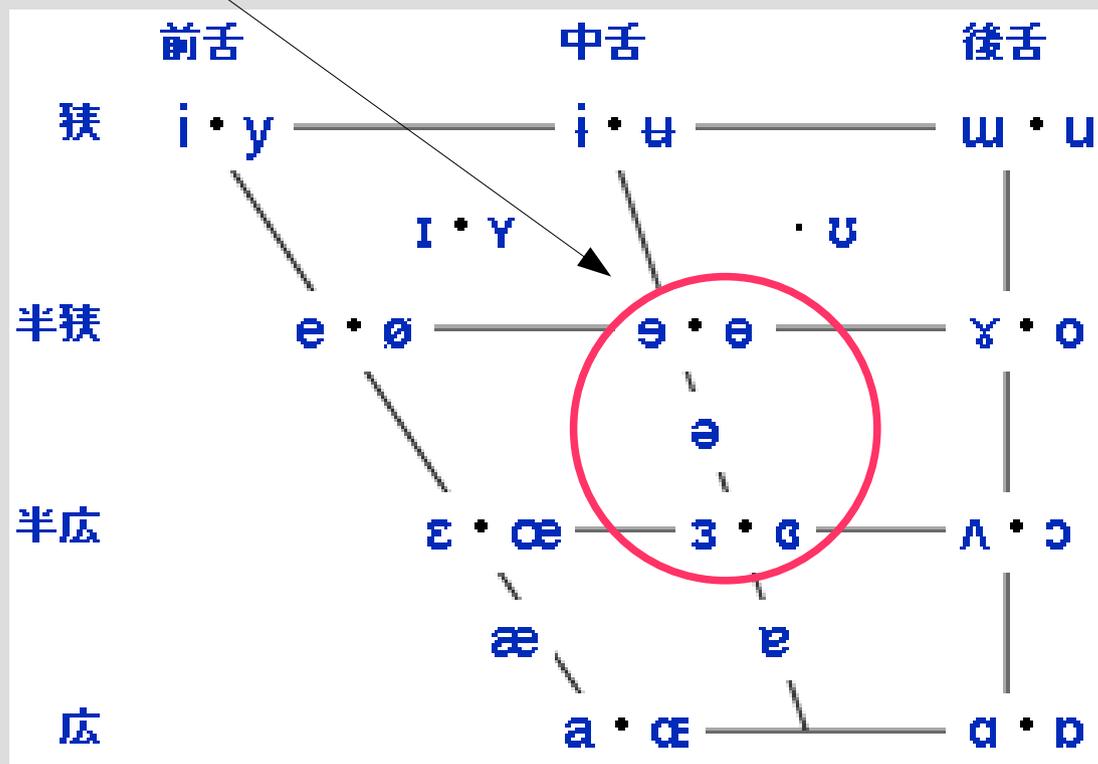
# Filled Pause の音声

- できるだけ半・中舌  
母音

- 英語: /əm/ /ə/
- 日本語: /ɛ:to/  
/ano:/

- イントネーション(音調)

- 平坦調
- 多少上昇調も可能



# Filled Pause の音声 : ASR

- 自動音声認識の問題 ( Automatic Speech Recognition ) : Elizabeth Shriberg (SRI International)
- 違いは？
  - He was a manager of the team.
  - He was uh manager of the team.
- 日本語も
  - 僕はあのりんごを食べた。
  - 僕はあの一りんごを食べた。

# Filled Pause : 場所

- どこでも現れる
- Maclay & Osgood, 1959
  - **内容語** (名詞、動詞、など)  
意味を取り出すコストが高い
  - **機能語** (前置詞、冠詞、など)  
言語処理中に自動的に文法に差し込む
  - だから、内容語の前に FP が現れる可能性が高い？
  - 多数の実験の結果がばらばらで結論が出ない

# Filled Pause : 場所

- 文法部分の間(文法境界)
  - 主な境界: 節と節の間
  - 軽微な境界: 節の中(例: 主語と動詞の間)
- 主な境界に発生する確率がより高い?
- Rose, 1998
  - 英語での話し言葉のコーパス(11,000音節 = 約8,000単語)
  - uh の場合
    - 主な境界に60%
    - 軽微な境界に40%

# Filled Pause : 場所

- 聞き手が言語処理に FP の場所に対して敏感である
- Bailey & Ferreira, 2003
  - Karen talked to the mailman and the neighbors began to gossip.
  - Karen talked to the mailman and uh uh the neighbors began to gossip. (文法的に正しいと判断)
  - Karen talked to the mailman and the neighbors uh uh began to gossip. (文法的に正しくないと判断)
- 聞き手は FP を主な境界の印として処理する

# Filled Pause : 場所

- 談話部分の間(談話境界)
  - 談話の仕組み
    - 主な境界
    - 軽微な境界
- Swerts, Wichmann, & Beun, 1996
  - オランダ語での話し言葉のコーパス
  - 主な境界に発生する確率が(軽微な境界のより)高い

## 目次 [非表示]

|       |           |
|-------|-----------|
| 1     | 概要        |
| 1.1   | 「英語」という和名 |
| 1.2   | 現況        |
| 2     | 文字        |
| 3     | 発音        |
| 4     | 文法        |
| 4.1   | 代名詞       |
| 4.2   | 名詞        |
| 4.3   | 動詞        |
| 4.3.1 | 法         |
| 4.3.2 | 時制        |
| 4.3.3 | 相         |
| 4.3.4 | 態         |
| 4.3.5 | be動詞の活用   |
| 4.4   | 助動詞       |
| 4.5   | その他の品詞    |
| 4.6   | 基本文型      |
| 5     | 歴史        |

# Filled Pause : 利用法

- 時間をとる（考えながら）
- 話者交代
- 相手の顔をつぶさない

# Filled Pause : 時間をとる

- Smith & Clark, 1993
    - 話す人が言語処理困難を話し相手に伝えるときにFPを使う
    - **uh** は短い遅れの印
    - **um** は長い遅れの印
  - Clark and Foxtree, 2002
    - FP は基本として言葉(間投詞)
    - FP はほかの言葉と同じように文に差し込む
  - 指示の代名詞から由来するもの？
- 議論の余地がある

# Filled Pause : 時間をとる

- 相手の知識を感じること (Feeling of another's knowing; Brennan & Williams, 1995)
  - 第1実験: 参加者に事実に基づく質問をする
    - 答えのない返事にFPを使う  
“Um ... I don't know”
  - 第2実験: 答えのない返事を参加者に聞かせる
    - “I don't know”  
「答えを知らない可能性が高い」と判断
    - “Um ... I don't know.”  
「答えを知っている可能性が高い(一時的に思い出せない)」と判断

# Filled Pause : 話者交代

- 話者交代のために FP を使う。(Sacks, Schegloff, & Jefferson, 1974; Stenstrom, 1994)
  - 順の始:  
um . well . er . he used to be my tutor
  - 順の終:  
if I if I work quite well I can do about three . a  
day \_ erm \_
- 順番を無理やり取る(割り込む)ときに FP を使う(Murata, 1994)

# Filled Pause : 話者交代

- 割り込み
  - SP 中の割り込み確率が FP 中より高い (Beattie, 1977)
- 割り込みを防ぐ
  - If a speaker “pauses long enough to receive the cue of his own silence, he will produce some kind of signal ([m, er]...) which says, in effect, ‘I’ m still in control—don’ t interrupt me!’ ” (Maclay & Osgood, 1959)
  - FP のあとに順番を取るときまでの時間が FP なしの場合より長い (d’Urso & Zammuner, 1990)
- 外国語学習者に便利？

# Filled Pause : 顔をつぶさない

- 顔をつぶす可能性が高いときにFPが和らげる
  - 恥ずかしい情報を伝えるとき  
“ You have some ... uh ... jam on your chin ”
  - 招待を断るとき  
A: Would you like to see a movie tonight?  
B: No, thanks.  
B': Uh ... no, thanks.
- 攻撃性や自己主張を抑える。  
(Eakins & Eakins, 1978)
  - ヒラリー・クリントン



# Filled Pause : 顔をつぶさない

- 「あの一」が日本語での和らげる言葉 (エメット、1997)
- 「えーと」は時間をとるために使う

T: あの一、ちょっとあの一申し訳ないんですけど、これからちょっと娘と一緒に出なきゃいけなくなったもんで

S: えっ？

T: え、娘と一緒にちょっと、う、う、外出しななきゃいけなくなったんで

S: 今ですか？

T: はい。

S: 突然。

T: ええ、じゃあの一ちょっと申し訳ないんですけどあの一 また後日電話いただけますか？

# Filled Pause : 聞き手の反応

- 知力 (intelligence)
- 心配・不安 (anxiety)
- 正直 (truthfulness, honesty)
- リラックスしている (relaxedness)

# Filled Pause : 知力

- 一般的な反応 : 高 FP 使用、低知力
  - “'Um' sounds dumb. 'Uh' sounds like 'duh'.”
  - “If you use FPs too often, you sound stupid.”  
「FP を使用過ぎるとバカにみえる。」
- そう思ってる人がかなりいる
  - テレビや映画でのキャラクター
  - Bush 大統領について
- 本当に証拠はある？
  - Bernstein, 1972 : 知力と躊躇割合 (hesitation rate) の間に相関関係がない



# Filled Pause : 心配

- 臨床心理学での研究 : FP は心配や不安の印 ?
- 多数の実験の上での結論 (Rochester, 1973)
  - FP と心配が関連させられない
  - SP と心配が関連させられる
  - SP とタスク困難も関連させられる

# Filled Pause : 正直

- 法廷の専門家の研究 : FP 率と騙すこととの相関性
- Benus et al, 2006
  - FP 率と騙すことが関連させられない
  - ポーズ (FP, SP 両方) が誠実さのほうにより関連させられました

# Filled Pause : リラックスしている

- Christenfeld, 1995: “Does it hurt to say um?” (「えーと」と言えば悪い?)
  - 話中のポーズ: FP、SP、なし
  - 聞き手のみること: 話し方、内容
  - 流暢さとリラックスしていることを判断する
  - 話し方をみると
    - ポーズなしの話が良いと判断
    - SPとFP 話がより流暢さに欠けるあるいはリラックスに欠けると判断
  - 内容を見ると
    - ポーズなしとFP 話がよいと判断
    - SP 話がより流暢さに欠けるあるいはリラックスに欠けると判断

# Filled Pause : リラックスしている

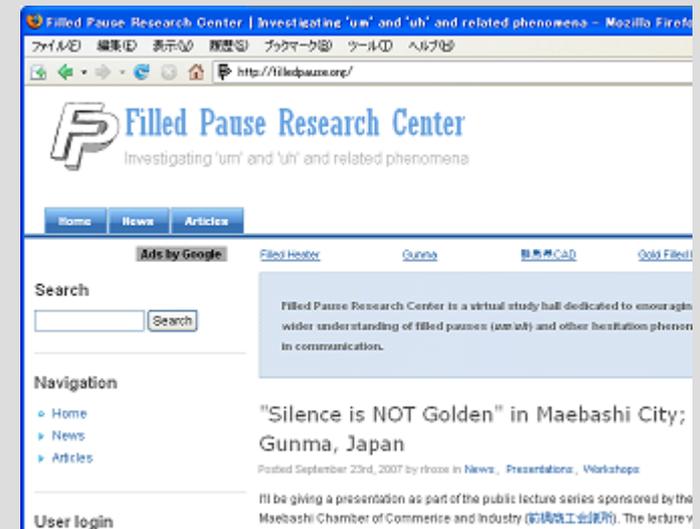
- FP を SP に取り替えるメリットがない
- Christenfeld の結論
  - When an audience attends to style, it may well be the result of the content being unworthy of attention, or the speaker's style being distracting. In this case, ums will not be associated with poor speech, but noticing ums will be. Just about every speaker produces ums, but the good speakers, by keeping substance, not style, as the center of attention, will effectively hide their hesitations.
- 話し方でなく、内容を中心に！

# まとめ

- それぞれの文化で沈黙の価値観が違う
- 会話中
  - 日本語では沈黙が礼儀正しいことがある
  - 英語では沈黙が問題と見えることがある
- 英会話中
  - FP が交流関係に役に立つ
    - 話者交代
    - 顔をつぶさない
    - リラックスしていることを示す

# 追加情報

- Filled Pause Research Center (私のウェブサイト)  
<http://filledpause.org/>



- *Um... Slips, Stumbles, and Verbal Blunders, and What They Mean.* By Michael Erard. Pantheon Books. 2007.



**Thank you!**